

本取組の目的

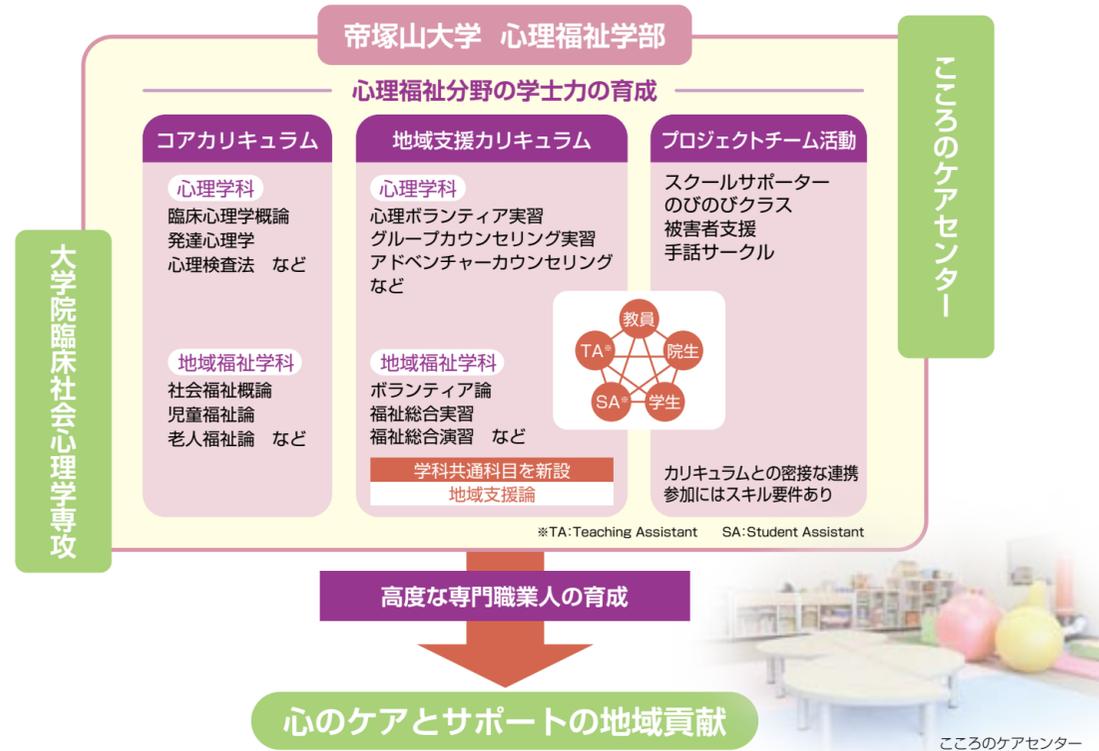
この取組では、心理福祉分野の学士力育成のために必要となるカリキュラムをさらに整備し、妥当性の高い評価システムを確立することで、高度な人材育成を図ることを目的としています。

帝塚山大学心理福祉学部が中心となり、大学院人文科学研究科臨床社会心理学専攻と「こころのケアセンター」が協力することで、心理福祉分野におけるより高度で効果的な教育を実施します。

1 学部学科における学習成果の設定

2 教育課程の体系化・構造化

3 応用実践能力に関わる達成度評価システムの構築



大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラムとは

文部科学省では、大学等から申請された各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定しており、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

本取組は、本事業の趣旨に照らして審査が行われた結果、
学士力の確保や教育力向上のための取組内容が意欲的で優れているとともに、
達成目標の実現性及び成果と今後の展開についても
十分に期待できると評価されました。

特に優れた点

- 全体としてよく練り上げられた本格的なプログラムであり、計画の着実な実施によって実りある成果が期待できる。
- 国外を含む学位水準を参考にしながら、心理福祉分野の学士力基準を3領域に整理し、バランスの取れた達成をめざす意欲的な取組である。
- 獲得されるべきスキルの評価に関しては、統計分析を活用するなど、事前に十分に検討されている。
- すでに一定の活動実績をあげており、計画の達成と確実な効果の点に関して、確かな期待が持てる。

文部科学省の審査結果より

平成22年度は全国から298件の申請があり、選定されたのは30件(選定率10.1%)でした。



お問い合わせ先

帝塚山大学 心理福祉教育推進室

〒631-8585 奈良市学園南3-1-3
TEL : 0742-41-4499
FAX : 0742-41-4491
e-mail : pwkyoiku@tezukayama-u.ac.jp

http://www.tezukayama-u.ac.jp/special/gp/2010/education_reform/



東生駒キャンパス
〒631-8501
奈良市東生駒7-1-1
TEL 0742-48-9122(代表)



学園前キャンパス
〒631-8585
奈良市学園南3-1-3
TEL 0742-41-4716(代表)



人と人と社会、今と未来を結ぶ
絆
KIZUNA

※平成23年4月より心理福祉学部は心理学部になります。

Good Practice Tezukayama University

平成22年度文部科学省
「大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム」選定

心理福祉分野の 学士力基準構築と 人材の育成

心理福祉分野における実践力を備えた
高度専門的職業人育成のための
地域支援教育カリキュラムの再編成



心理福祉分野での、教育・評価の手法を確立し、 学士力の向上を図ります。

近年、労働者や地域住民のメンタルヘルスの向上が大きな課題となっており、また、発達につまづきのある子どもや「不登校」といった学校現場を取り巻く諸問題も深刻化しています。そういった社会問題に対応するために、心理福祉的支援を必要とする人々への対策や問題解決への方策立案とその実践の取組が求められています。こういった問題解決にあたる専門家には関係者との心理面のサポートだけではなく関係者への現実的場面の調整や業務

の役割分担のマネジメントが必要とされています。しかし、そういった能力の到達度を適切かつ継続的に評価することは困難であり、その実践例はきわめて少ないのが実情です。本取組は、こうした心理福祉分野での学士力を基準化し、その教育手法と評価手法を確立することで、大学教育における学士力の向上を図ります。

実施体制

- 心理福祉教育推進委員会 ●
 学部長(取組責任者)、学科主任、大学院専攻主任、こころのケアセンター長を委員とし、事業運営について審議します。
- 心理福祉教育推進室 ●
 こころのケアセンター、TIES教材開発室等と連携して取組の効果的な実施を図ります。

評価体制

- 心理福祉教育推進委員会 ●
 本取組の実施とそのプロセスを継続的に評価、改善します。
- 外部評価委員会 ●
 本取組における教育活動だけでなく、学内ネットワークでの継続的な評価サポートを行います。

外部評価委員
 臨床心理士会や社会福祉団体の関係者、学識経験者、医療領域の専門家

地域支援カリキュラムの一例 アドベンチャー・カウンセリング

帝塚山大学心理福祉学部では、社会を生き抜く力を育てるための方法として冒険をテーマにした心の教育「アドベンチャー・カウンセリング」を採用しています。アドベンチャー・カウンセリングは、1971年、アメリカのハミルトン・ウェンハム高校の教師が開発した心の教育プログラム、プロジェクト・アドベンチャー(Project Adventure)を基盤としています。これまでも、小学校、ボーイスカウト、企業研修、オリンピック選手などのチームビルディングに活用されています。本学はキャンパス内にアドベンチャー・カウンセリング実習を行うための屋内施設を有し、かつ専門のコーディネータとともに活動を行うことができる全国的にも特色のある環境を整えています。充実した施設・体制のもと、近隣団体や多くの行政機関との連携を通して、より効果的な教育実践を展開しています。



取組の内容

1 学部学科における学習成果の設定
 本取組では、学部設置理念を実現するために本学独自の「心理福祉分野学士力基準」を構築し、それに基づいて学習成果を適切に評価します。

2 教育課程の体系化・構造化
 教育課程の体系化・構造化のために、「コアカリキュラム」「地域支援カリキュラム」「プロジェクトチーム活動」の3本柱によりカリキュラムを編成します。教育活動に教員と大学院生らが一緒に参加することで、より高度な学士力育成につながる質の高い教育を展開し、社会貢献機能の整備・拡充を図ります。

3 応用実践能力に関わる達成度評価システムの構築
 「応用実践能力」に関わる達成度の評価は「カウンセリングスキル」や「対人スキル」、「チームビルディングスキル」といった側面を重視します。評価システムの構築のために、学習ポートフォリオ・心理査定法・テキストマイニングを用いたシステムを取り入れます。

